

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	大阪J いのちの授業
活動テーマ	教職員や地域住民の救急医療・防災力向上を目的とするいのちのラリーと学びブース



【活動名・テーマ】第5回高槻市小学校救命ラリー 一致団結！！～みんなで守ろう子どもの命～

【目的】救急・災害医療の最前線で活躍する多職種（救急救命士、消防士、医師、看護師、薬剤師、大阪医専学生）が連携し、有事の際の対処法である「いのちの授業」を地域密着型で実施している。「いのちの授業」を受講した教職員、地域住民がチームを組み「高槻市小学校救命ラリー」に挑戦することにより、有事の際に推奨される対処ができるか検証するとともに、学びの場を提供することを目標とした。

【活動の実施方法】開催日：2018年10月20日（土） 会場：高槻市立桃園小学校

対象：地域住民（成人7名、高校生8名 1チーム3～4名からなる4チームを構成）

参加者は、チャレンジブースにおいて学校で起こりうる救急医療のシナリオ3項目に挑戦した。チームに対する評価は、救急救命士がチェック項目に基づき成果をスコア化し、各ブースでフィードバックを実施した。学びブースでは「エピペン®の使用法」と「二次救命処置」を見学した。応用ブースでは、各チームから選手を選抜し、大規模事故対応の現地訓練を実施した。

【得られた成果】参加者から、「一次救命処置の訓練を受けていても、救急医療のシナリオに対応となると気持ちが焦り、何をすればよいのかわからなくなってしまうことがあったが、フィードバックを元に次のシナリオに対応していく中で、徐々に落ち着いて対応できた。継続して訓練を受けたい。」との意見が寄せられた。参加者のアンケート結果および、スタッフから得られた今後の課題を「いのちの授業」の授業内容に反映させるとともに、2019年度開催予定のラリーについてブラッシュアップしていく予定である。